



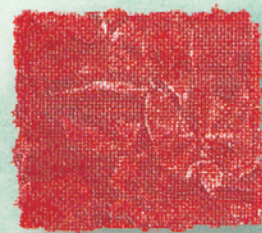
道

みちもり

MICHIMORI  
TSUSHIN

通信

vol.41 秋号



巻頭インタビュー

3つの輪 連携モデルを検討

藤巻 浩之 (国土交通省九州地方整備局長)

みちづくし in 北九州2021 道守九州会議 交流会  
みんなで手をつなごう 連携の道守活動へ

九州風景街道

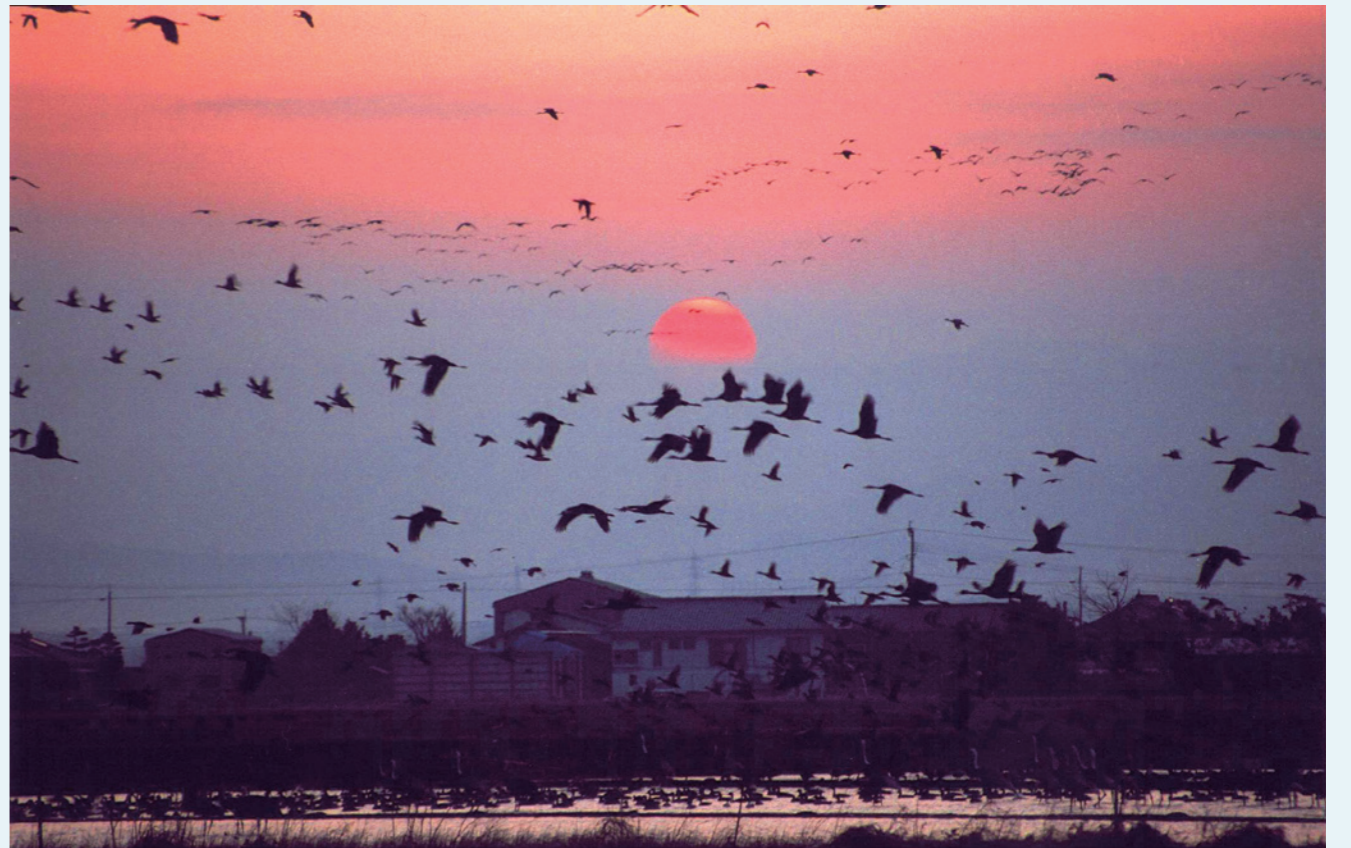
「やまなみハイウェイ」を  
熊本、大分両県で活性化

古代から、道は人々の共有財産であった。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を運び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄りや、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあった。そんな「日本の原風景」は何処へ行ったのだろうか。

確かに、高速道路やバイパスなどは整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組み人々が増えている。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を管理し、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。  
さあ、新しい道に一步踏み出そう。



鶴の里 (鹿児島県出水市)

CONTENTS

- 01 巻頭インタビュー  
3つの輪 連携モデルを検討  
藤巻 浩之 (国土交通省九州地方整備局長)
- 03 「クロスからリングへ」  
九州地方新広域道路交通ビジョン・  
新広域道路交通計画を策定
- 04 みちづくし in 北九州2021 道守九州会議 交流会  
みんなで手をつなごう 連携の道守活動へ
- 06 みちづくし in 北九州2021  
意見交換会
- 08 北九州市のみどころ
- 10 九州風景街道  
「やまなみハイウェイ」を熊本、大分両県で活性化
- 12 わたしの好きな道  
桃、サクラ、みかんとコスモスの道  
家永 重信
- 13 私たちの道守活動
- 16 海外道事情 ワシントンDC  
電動キックボードで首都をスイスイ—  
金井 仁志
- 17 道守人物伝・道守たちのトピックス・横顔・編集後記

表紙画：久富 正美  
1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

巻頭  
インタビュー

HIROYUKI FUJIMAKI  
藤巻浩之

国土交通省九州地方整備局長

インタビュー  
道守長崎会議 代表世話人 牧圭子さん  
道守くまもと会議 世話人 岡田敏代さん  
道守大分会議 事務局長 木ノ下結理さん

道守活動は17年前から始まり、毎年「みちづくし」で年一回、活動報告や懇親をやっていました。昨年はコロナで実施していません。今年北九州のみちづくしで、新しい試みとして、会場とリモートでつなごう。できるだけ多くの皆さんに参加してもらい、情報をやりとりできる場にしてゆきたいです。

道路とはあくまでも手段であり、皆様はどう使って頂くかです。使い勝手がいいのか、どういう道にしたらいいのか、使う方々からみて、どう映っているのか、僕らの仕事に足りているのか、というも考えています。その道をほんとに愛されて、ご自身たちで色々手を入れたり、一緒に朝早くから道守活動に参加させて頂くこと、我々が、気が付かなかったような道の使い方とか、道のここがもう

ちよつと何とかならないかということなどに気が付かされたことがあります。我々道路管理者の立場では、国の道路、県の道路、市の道路と分けて持ち分があります。管理者に関係なく、皆さんからこの道はこういう風にならなくて、こんな風なコンセプトで花を植えられる方がいいのではないかと、看板はこういう風にしたらいいのではないかと、すごく印象深いことでした。

今回のみちづくしのテーマの「行政との連携」は、現場主義ということで身をもって一番感じているので、私たちが日ごろやっていることからそう感じただけなのは有難いですが、いかに楽しく道守活動をやってきたか、だからこそ17年も続いているのだなということを実感いたしました。職員の方々が、間に入ってくれている賜物だと感謝しています。

もう一つ、みちづくしin佐世保がありました。10回ほど会議をしましたが、その時の所長がほとんど出席して意見も言ってくれました。「こんなに所長が頑張っている」と、県や市の人たちとうまくコミュニケーションをとってしまいました。そのあとも、市とか県とか道守との連携が取れるようになった元を作ってくださったのは、こちらの職員さんみなさまのおかげです。

プロフィール  
昭和40年7月23日生まれ。神奈川県出身。平成3年建設省入省。九州地方整備局八代河川国道事務所長、企画部企画調整官、水管理 国土保全局治水課事業監理室長、九州地方整備局企画部長等を歴任後、水管理 国土保全局治水課長を経て令和3年7月現職。



地域の皆さんが喜んでくれることで、若い職員も自信がつかれます。人間誰でも褒められたいやん。やる気が出ますよね。最初は指

で、そこで頑張っている職員を応援してあげたいと思いますね。——長崎から3つをご紹介します。一つ目は、自分の休みを取

3つの輪(道守・風景街道・道の駅)  
連携モデルを検討  
「地域でがんばる職員を応援」



## ●各県活動報告・意見交換

コロナ下で道守活動を、実施する上での知恵や工夫などについて実情を報告していただき、継続していくための取り組みなどについて意見交換を行います。

また、行政との連携のあり方についても、北九州市や他の地域の事例をもとに議論していきます。各県会議から行事を自粛したり、中止するなど顔を合わせる機会が減ったなどコロナ禍での苦勞がたくさんありましたが、その中でも少人数で回数を増やし、三密をさげながらも道守活動を「知恵と工夫」で継続的に実施されています。

報告されている事例は次のとおりです。

- ・オリジナルマスクを製作・配布し、感染予防をしながら活動
- ・活動の様子をSNSを使って情報発信し、お互いの情報交換を実施
- ・町内会を巻き込んだ活動

## ●現地体験学習

2日目は、メイン会場に参集いただいた道守さん達に門司港周辺の魅力と道守活動にふれていただくよう「関門周回コース」と「門司港レトロ満喫コース」を準備しています。

### コース① 時間／9:00～12:00

#### 関門周回コース 約3.2km

門司港レトロ地区の名所を通ったあと、北九州市道路サポーターの会の団体が活動されている場所を見学・花植え等を体験します。その後、関門トンネル人道でNEXCO西日本から関門橋やトンネル建設の歴史等の説明を聞きながら関門海峡を歩いて渡るコースです。



関門橋



赤間神宮

#### 主なルート

門司港駅集合 コース①② 共通  
 ↓  
 門司港レトロ地区  
 ↓  
 道守活動場所見学・現地体験  
 ↓  
 関門トンネル人道  
 ↓  
 下関側トンネル坑口まで(約3.2km)  
 以降、各自自由に探索



関門トンネル人道

※解散後は、関門プラザ資料館・赤間神宮・唐戸市場等自由探索となります。なお、トンネル坑口～唐戸市場まではバスを、唐戸市場～門司港までは連絡船(有料)を利用することが可能です。

### コース② 時間／9:00～12:00

#### 門司港レトロ満喫コース 約3km

道守活動場所での見学・体験まではコース1と同じでその後は折り返します。レトロな雰囲気や漂う栄町商店街など、昔懐かしい路地裏にも入り、かつて栄えた料亭や花柳界の栄華跡を懐かしみ、更に世界へ羽ばたいた大陸航路の歴史を辿るコースです。



関門海峡ミュージアム



栄町商店街

#### 主なルート

門司港駅集合 コース①② 共通  
 ↓  
 門司港レトロ地区  
 ↓  
 道守活動場所見学・現地体験  
 ↓  
 栄町商店街  
 ↓  
 九州鉄道記念館  
 ↓  
 関門海峡ミュージアム  
 ↓  
 門司港駅まで(3.0km)  
 以降、各自自由に探索



道守活動場所

※記念館とミュージアムはボランティアガイドの方による外からの説明のみです。館内の見学をご希望の方は解散後に見学ください。

※この事業は、(一社)九州地域づくり協会、(一財)FFG文化芸術財団、(公財)北九州観光コンベンション協会の助成金を受けて行っております。

# みちづくし in 北九州2021 道守九州会議 交流会 みんなで手をつなごう 連携の道守活動へ

平成16年から九州各県で開催されていた「みちづくし」が、令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大で開催できませんでした。「今年こそは、是非とも開催しよう!」と初の取り組みとして、各県代表が集まる参集会議とサテライト会場をオンラインで結ぶ「新方式」で「みちづくし in 北九州2021」を実施します。新型コロナウイルスの感染が収束しない中での開催の為、従来の一同行に参集しての交流会を「新方式」に変更しました。

## 【1日目】交流会

令和3年11月30日(火) 13:30～

メイン会場 : AIM(エイム)

サテライト会場: 直轄国道事務所 他

※交流集会(懇親会)は実施しません



会場のAIM 北九州市小倉北区浅野3丁目8-1  
 (小倉駅北口から連絡通路を歩いて5分)

## 【2日目】現地体験学習会

令和3年12月1日(水)

## ●テーマ

— みんなで手をつなごう — 連携の道守活動へ  
 「連携」

- ① 道守活動は一人ではなく、みんなで
- ② 活動団体同士の連携
- ③ 行政と民間、一般人との連携、「新しい公」を目指す運動。  
 北九州市は道路サポーター制度など、その先導的な役割を果たしている。
- ④ 開催地・北九州市は、関門海峡を挟んで本土と繋がる道、  
 関門トンネル、関門橋など海を渡る道を持っている。

今回のみちづくしで、様々な連携、行政との協働について、意見交換をしながら、コロナ禍での活動や収束後の活動の糧になればと「連携の道守活動」を今回のテーマにしました。

## ●基調講演

講師 北九州市建設局長 <sup>あずま よしひろ</sup> 東 義浩氏

### 北九州市の魅力と道路サポーター制度について

開催地北九州市の魅力と、北九州市が地域と行政の協働体制の好事例で先導的な取り組みの「道路サポーター制度」の現状と課題について講演していただき、他の地域での参考にしてもらえればと考えています。



コロナ禍に加え大災害は九州の道守活動に大きな影響を与えた。集まれず、一斉活動も出来ない中で道守仲間には知恵をしばった。この難関を仲間と行政との連携で乗り切ろう。

## 「コロナ禍での活動」

### 道守佐賀会議

#### ◆評判上々、オリジナルマスク

2020年1月に新型コロナウイルスの国内感染が確認されて1年9ヶ月が過ぎようとしています。最近になってようやく感染状況が好転しつつあるようですが、これまで実施してきた道守活動の中止や実施方法の変更などの対応に苦慮されていると思います。勿論、道守佐賀会議も例外ではありません。昨年予定していた道守活動が全て中止となり、世話人の方々とのリモート意見交換会で「コロナ禍で何ができるのか」を考えました。このご時世で重要な「安心と安全」を確保し、活動者の一体感を創出し、且つ広報的にも使える何か…

「あ…、オリジナルマスク作りませんか？」  
早速、事務局でデザイン案を作成し、厳選した3種類のマスクを作成すると評判は上々！

これまで一般の方が参加する清掃活動は実行できていませんが、参加していただいた一般の方々にも広く配布し、「道守」を知ってもらえるツールとして活用していきたいと思っています。  
(事務局 木村剛)



時間を1年間近く無駄にしました。

リモート会議なども日常になった今年こそは何か動かないかと思いきや、みやぎ道守会議では広告花壇を実現しようと動きだしたのですが、道路協力団体は道路の占用手続きが円滑・柔軟化されると聞いていたのだけ、最終的には自治体の条例や解釈が壁となつてなかなか前には進みませんでした。結局、自治体の担当者が制度そのものを知らないで制度の説明から始めるというところから始まりました。自治体の担当者の方々も頑張ってくれて無事、広告花壇がこの秋に完成。ひとつの大きなステップになったのではないかと思います。  
(事務局長 石田達也)

### 道守がごしま会議

#### ◆花いっぱい運動を町内会と

コロナ禍で様々な活動が制限される中、道守活動で唯一出たことは、沿道の花植え等の美化活動です。

鹿児島県では、2020年の国体に向けて「花いっぱい運動」が推進されました。新型コロナウイルスの影響で2023年に特別国体としての実施となりますが、コロナに負けず国体を盛り上げようと、各地域では花いっぱい運動を継続しています。その中心となっているのが、道守がごしま会議の会員たちです。



### 道守大分会議

#### ◆SNSで発信

新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、道守活動を自粛することを余儀なくされ、大変ご苦労されていると思います。そんな中でも、お花は咲くもので、人との接触を避けるため時短や、今までと違う方法で、活動を続けてくださっている道守さんに敬意を表し、多くの人に道守活動を知っていただくため、SNS（インターネット）を利用し発信することに重きをおきました。時には取材へ向かい、時には写真を送ってもらったり。コロナ禍でも、伝えることで、遠くにも共感してもらえたら道守事務局としての役目を果たした気がします。また、スマホやタブレットで情報収集するのが、若い世代だけでなく、広範囲の世代の方が利用していることに話しをしていて気づきました。「お子さんやお孫さんとLINEでやりとりしている！」という方も多いのでは。そんな情報を頼りに、道守LINEスタンプを作って配布出来たら！と試みに作ってみました。ウィズコロナ時代の資金活動の一端を担うよう新しいことにチャレンジしていきたいです。  
(事務局長 木ノ下結理)



町内会や各種団体、企業、子ども達と一緒に花植え体験活動を実施し、花いっぱいのプランターをつくり地域の沿道に設置しました。

また、鹿屋市の「ばら通り220」は、日頃から環境美化等のボランティア活動に取り組んでいる幾つかの町内会が、鹿屋バイパスの4車化に併せ、鹿屋市のシンボルであるバラを植えました。このように、町内会やそれぞれの団体と連携することにより、地域の環境美化や住民同士の交流の活性化を図り、地域の連帯感や愛着心を養う場となっております。  
(代表世話人 田島直美)

## 行政との連携

### 道守長崎会議

#### ◆行政OBの活躍

私達、道守長崎会議は、発足当時から県・市の現役幹部が構成メンバーに含まれており、行政との連携が取りやすい状況で始まりました。その流れは現在も続いており、県・市の職員がOBになつてもメンバーとして活動しています。現在、道守長崎会議は、県内6地区で構成されており2か月に1回程度の世話人会議の開催等を通じて各地区の活動報告を行い情報の共有を行っています。世話人会議にも国交省の皆様が出席して共に意見を交わし、私たち道守が活動しやすいようにフォローしていただいています。

また、各地区での活動も行政と一緒に続けています。そして、「みちづくし」の開催等6地区がまとまって活動する時は、長崎河川国道事務所の所長さんを中心とした職員の皆さんの協力のお陰で、長崎県や各地区の自治体との連携がスムーズになり、



#### ◆被災の坂本村に花々を

昨年の熊本豪雨から一年が過ぎ、球磨川流域の復興も少しずつ進んでいるが、住み慣れた所を離れて仮設住宅等で暮らしている住民も多い。

そんな中7月4日道の駅坂本と復興商店街がオープン、その日に合わせて仮設住宅住民と一緒にプランターに寄せ植えをして華を添えたが、地域毎竹の七夕飾りを持ち寄るイベントもあり、久し振りに住民同士の交流が生まれていた。

今後の展開として、毎月2回復興商店街で「坂本の縁がわ」開催しながら、季節を感じる樹木や草花を選定し植栽を進めるが、地域住民と行政の協力が必要なので、10月末南阿蘇地域視察、11月23日第2回坂本復興応援まつりを開催する。

被災した坂本に多くの人の姿と賑やかな声が聞こえるように、行政と協働のまちづくり出来る事から進めていきたいと思っている。  
(世話人 岡田敏代)



### 道守みやぎき会議

#### ◆広告花壇が完成

みやぎき道守会議は一昨年に道路協力団体の指定を受け、道路空間を活用した収益活動が可能となりました。

もちろん、その収益は道路の管理に還元しなければならぬのですが、広告看板の設置や、オープンカフェ等のイベントの開催が可能となりました。早速、令和2年度から道路協力団体としての活動を推進しようと期待してはいたのですが、生憎のコロナ禍で人が集まることすらできない、何も出来ない

「みちづくし」を行政と道守、地域の方々と一緒に開催することができました。現在は、コロナ禍で出来ませんが、会議後の懇親会での活発な話し合いもまた顔の見える関係の構築に役立っていると思います。国・県・市の職員（OBも含めて）との強固な協力関係に基づく活動を、長年続けていけることが、私達、道守長崎会議の特色であり強みであると自負しています。  
(代表世話人 牧圭子)

### 道守ふくおか会議

#### ◆市長も自ら参加

ふくおか会議は、北九州市に代表される道路サポーター制度と県南地区で発足当初から進められている道守ネットワークがあります。

道守ネットワークは柳川からスタートし、周辺の市に働きかけて道守ネットワークが広がっていきました。現在では大川・大牟田・うきは・久留米の各市で行政と連携して活動しています。活動には市長自ら参加し、職員も共に加わり、活動をフォローし、行政と市民が一体となって心地よい街づくりに貢献しています。事務局を市の担当課が担ってくれていることも特徴です。支援内容は、活動時には市民が参加しやすい環境を整え、呼びかけから終了まで協働し、花苗や清掃器具、ごみ袋などは市から提供されます。また、補助金申請時には、申請書や報告書作成、活動時の記録など道守が苦手な分野を手際よくサポートしてもらっています。担当が異動になつても引き続き同じように対応できることが行政のすばらしさです。いつもお互い声をかけながらコミュニケーションを深めています。風通しの良い関係が今後も続けられることを願っています。  
(事務局長 山田三代子)



# 北九州市のみどころ

北九州市は、昭和38年に、門司、小倉、若松、八幡、戸畑の5市が合併して誕生した、五大市に次ぐ全国6番目、九州では最初の政令指定都市です。

本州と九州の結節点に位置する、陸上交通、海上交通の要衝であり、東アジア地域に最も近いという地理的特性から、近代日本の工業化を支えるモノづくりのまちとして発展しました。

近年では、「環境モデル都市」「環境未来都市」として、「世界の環境首都」を目指したまちづくりを推進しており、平成30年には「SDGs未来都市」に選定されるなど、国内外から高い評価を受けています。

## ◎「日本新三大夜景都市」北九州市

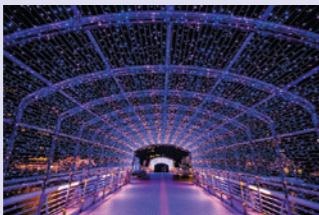
ケーブルカー・スロープカーで登る「皿倉山」からの大パノラマ夜景をはじめ、門司港レトロ展望室から眺める関門海峡のダイナミックな夜景、幻想的な小倉イルミネーションなど、北九州市には7つもの日本夜景遺産があります。

その他にも、ものづくりの街を象徴する「工場夜景」など、バラエティーに富んだ夜景は見どころです。

2018年10月には、全国約5,500人の夜景鑑賞士（現在は夜景観光士）の投票により、夜景の素晴らしい街として、「日本新三大夜景都市」に認定されました。



門司港レトロ展望室からの夜景



小倉イルミネーション



皿倉山からの夜景

## ◎小倉城エリア

### ▶小倉城

慶長7年（1602年）に細川忠興によって築城開始されました。火災により天守閣は焼失しましたが、昭和34年（1959年）に再建され、5階よりも4階が大きい「唐造り」が特徴です。福岡県内で唯一天守閣を有するお城です。2019年3月に体験型の展示にリニューアル！楽しく小倉城の歴史を学ぶことができます。



小倉城



小倉城庭園

### ▶小倉城庭園

小倉城主の下屋敷跡を復元した大名の庭園と典型的な江戸時代の武家の書院を再現し、それに展示棟や茶室を備えた文化施設です。

展示棟では日本の礼法を学べ、茶室では立札席で抹茶（煎茶）とお菓子を楽しむなど、日本の文化に触れることができます。

本市ゆかりの俳人である杉田久女と橋本多佳子の功績を称えた、「杉田久女・橋本多佳子記念室」もあります。

## ◎ご当地グルメ

### ▶焼きカレー

門司港レトロに行けば焼きカレーがランチの第一候補。ご飯の上にカレーとチーズや玉子などをのせ、オーブンで焼いた「焼きカレー」が、門司港発祥のご当地メニューとして親しまれています。

門司港駅からすぐの場所には、焼きカレーのレストランが並び、各店がそれぞれ個性のある焼きカレーを提供しています。

どれにするか悩むときは、観光案内所などにある「門司港レトロ焼きカレーマップ」を入手して、自分好みの味を見つけよう！

### ▶焼うどん

小倉発祥焼うどんは、乾麺をゆでて使うのが流儀。しっかりした焼目ともっちりした食感は、乾麺ならではの味。野菜や豚バラなどをうどんと一緒に炒め、各店自慢のソース（醤油の場合も）で味付けします。



焼きカレー



焼うどん

## ◎門司港レトロエリア

明治22年に石炭等を扱う国の特別輸出港に指定された門司港。その後の発展は目覚ましく、明治24年には九州鉄道の起点となる門司駅（現：門司港駅）が開業し、金融機関や商社・海運会社が次々に進出、国内有数の外国貿易の拠点として、さらには大陸航路や欧州航路の拠点として繁栄しました。

終戦とともに大陸貿易が縮小され石炭の輸出も減り、港としては次第に衰退しましたが、華やかな時代の建物の一部は現存しており、行政と民間の協力のもと、平成7年に『門司港レトロ』として生まれ変わりました。関門海峡の風光明媚な景観も楽しめる人気観光地として、新たな歴史を歩んでいます。

また、平成29年にはこれらの建物が日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の構成文化財として認定されました。日本が近代国家建設へ向け躍動した時代の記憶を今に伝えています。門司港でレトロを感じてみませんか？

### ▶JR門司港駅

大正3年に旧門司駅の2代目駅舎として開業。左右対称の駅舎はネオ・ルネサンス様式の木造建築で、昭和63年に鉄道駅舎では初めて国の重要文化財に指定されました。平成31年3月、約6年の保存修理工事を経て創建当時の姿に復原されました。

### ▶旧門司三井倶楽部

大正10年に三井物産の接客・宿泊施設として建築された施設。北九州における大正期の近代化を示す建物で、JR門司港駅と同様に国の重要文化財に指定されています。アインシュタイン博士が宿泊した当時の様子を再現したメモリアルホール等があります。

### ▶九州鉄道記念館

明治24年に竣工した旧九州鉄道本社を利用した、鉄道の歴史を楽しむながら学べる記念館。国鉄時代に活躍した名車両の展示や、運転シミュレーター等があり、幅広い世代に人気の施設です。なお、建屋は近代化産業遺産、国の登録有形文化財に登録されています。

### ▶門司港レトロ展望室

建築家・黒川紀章氏が設計した高層マンションの31階にあります。高さ103mから関門海峡や門司港レトロの街並みを見渡せる絶景ポイントで、「日本夜景遺産」に登録されています。



JR門司港駅



旧門司三井倶楽部



九州鉄道記念館



門司港レトロ展望室



## 九州風景街道

# 「やまなみハイウェイ」を

# 熊本、大分両県で活性化

## 共同活動と、情報発信を話し合う

阿蘇と九重を繋ぐ「やまなみハイウェイ」（日本風景街道）を、熊本県、大分県共同の風景街道として活性化できないか―九州風景街道「明日を語ろう会」が6月8日、九重・野の花荘で開かれた。やまなみハイウェイは発走当時から日本風景街道に登録されたが、この横断道路も風景街道としては両県別々に活動してきた。このため熊本の阿南誠志さんが呼びかけ人となって「共同の活動」とその魅力発信を模索する「明日を語ろう会」開催となった。語ろう会は大分の木ノ下結理さんの司会で、両県それぞれの活動を報告、今後の共同活動などについて話し合った。基調講演では57年前、阿蘇と九重の山岳、高原景観を生かす全国初めての山岳観光道路として「やまなみハイウェイ」が建設され、マイカー観光の先駆けとなった歴史や建設にあたって延べ52万人の人々が働き、14人の殉職者を出すなど九州初めての山岳道路建設の苦勞などが紹介された。



道守くまもと会議  
阿南誠志氏

## 「つながる・ひろがる」これからの発展

57年前熊本県阿蘇から大分県別府へと九州横断観光動脈「やまなみハイウェイ」が開通した。

昨年一冊の本に目が止まった。「プロジェクト九州」である。やまなみハイウェイは寒さと大雨の難工事で14名もの殉職者があり長者原高原に今も慰霊塔があると記してあった。

今一度、やまなみハイウェイの歴史文化を学びこれか



やまなみハイウェイ「つながる・ひろがる」プロジェクト!!意見交換会



油屋熊八キッズミュージカル

## 九州風景街道推進会議会長に 石原進さんが就任へ



第二代、九州風景街道推進会議会長に、JR九州特別顧問の石原進氏が内定した。令和3年度の同会議で就任する。同会長はJR九州社長、会長を務められたほか、九州経済・観光など多くの助言、提言を行われてきた。

●氏名 石原進（いしはらすずむ）

●生年月日 昭和20年4月30日生（76歳）

●最終学歴 昭和大4年6月 東京大学法学部卒業

●主要経歴 昭和44年6月 日本国有鉄道に入社

昭和44年7月 九州旅客鉄道株式会社

平成9年6月 常務取締役

13年6月 専務取締役

14年6月 代表取締役社長

21年6月 代表取締役会長

令和2年6月 取締役会長

現在に至る 特別顧問

●主な兼職  
（公財）福岡市文化芸術振興財団理事長  
九州経済フォーラム会長  
在福岡トルコ共和国名誉総領事 など



道守大分会議  
木ノ下結理さん

## やまなみHW♡愛の活動を

3月に九州地方整備局で開催された「九州風景街道の意見交換会」で、久しぶりにお会いした阿南さんに「道の駅の日に向けて、3つの輪一斉清掃をやらうと、道の駅阿蘇の下城駅長と連絡をとりあっています！これをきっかけに熊本と大分を繋ぎたいですね」と交わした言葉から交流に火が付きました。

人と人が繋がれば、「やまなみハイウェイ」の活動が新たな展開をするのではないかと、6月に「やまなみハイウェイつながる・ひろがるプロジェクト!!明日を語ろう会」を大分県・長者原で実施。阿南さんのお声かけにより、両県で活動する方々が一同に集まりました。

基調講演では、やまなみハイウェイのカーブは景観をみるための道づくりだったこと、建設を指揮した道路公団初代総裁の岸道三さんの碑があるなど、私自身初めて聞く貴重な情報を教えていただきました。

桑野さんからは、やまなみハイウェイはドイツの「ロマンティック街道」をお手本に1964年（東京オリンピックの年）に開通したので「湯布院では、今回の東京五輪を機に原点に戻って植樹をしようと思っています」道の駅阿蘇の下城さんからは、「昔、子どものころ、やまなみハイウェイを通ったときには道の向こうに素敵な景観があらわれ、ワクワクした記憶がある。今は、木が伸びてその景観を楽しむことができない。どこか一部でも皆の手でキレイにする活動をしたい」など、皆さんの「やまなみハイウェイ♡愛」を聞き出したことが今回の大きな成果だったと思います。

市・珍珠町、長崎県島原市）で公演、約2400名が入場した。

出演者はすべて小学生から高校生の子供たち。活動団体にとどまらず地域で協力し、広い年齢層の一般の方々に活動のPRを行っている。

九州を横断する道やまなみハイウェイは別府・湯布院・九重町・くじゅう高原・阿蘇山・熊本・長崎を繋ぐ九州・日本を代表する広域観光道路である。九州横断道は大分県内の日本風景街道九州横断の道やまなみハイウェイと熊本県内の日本風景街道九州横断の道阿蘇くまもと路で一本につながっている。

## 立木伐採で景観向上へ

これまでこのような取り組みが行われてきた中で、大分県・熊本県の県境を越えた意見交換が行われた。この意見交換会には日本風景街道のみならず道の駅・道守の三つの輪の関係者も集まって九州横断の道の今後の活性化方策について歴史・文化・環境・観光・まちづくりなど様々な面から意見交換が行われた。今回はじめての大分熊本両県の県境を越えた意見交換会開催で、これまであまり知らなかった隣の地域や人について交流が出来る広域的な地域活性化や問題解決に取り組むきっかけづくりが生まれた。

これまで、やまなみハイウェイ沿線の景観向上のために視界を妨げる立木伐採や不法立て看板撤去作業などを協議会で関係者に働きかけを行って伐採や撤去を行ってきた。さらに沿線の景観向上のために野焼きや花植え活動などを継続して実施。さらに沿線の地域を活性化するために、ガイドによるまち歩き活動や沿線の観光まちづくり活動を行っている。

最近では、各沿線での日本語英語版ユーチューブ動画制作や広域観光まちづくりマップ制作を行ったり、やまなみハイウェイをこれから全域で協力してPRするため共通ロゴマーク制作を行った。

令和3年度には、環境省の「九州横断の道やまなみハイウェイ沿線の阿蘇くじゅう国立公園の滞在型ツアー推進事業」に取り組んでいる。



九州横断の道  
やまなみハイウェイ  
連絡協議会  
事務局長  
平野芳弘氏

## キッズミュージカル公演でPR

九州横断の道やまなみハイウェイは、全長約58kmの大分熊本両県にまたがる日本有数の広域観光道路である。まもなく全線開通から60年を迎えようとしている。

山あいの高原地帯を貫くこの道路は、九州屈指のパノラマロードでもある。この地域は、九重連山や阿蘇五岳といった山々と、ゆるやかに広がる高原の織りなす景観が非常に美しく、毎年、多くの観光客が訪れている。

やまなみハイウェイの沿線沿いに、別府温泉、湯布院温泉、黒川温泉、長湯温泉など、数多くの温泉地が点在することも、多くの観光客が訪れる要因のひとつとなっている。開通当時は、景観日本一の道路ということで国内外から多くの団体観光客等が訪れていた。しかし全線開通から50年以上経過すると道路沿線の景観も立木が遮って見通しが悪くなってしまう、ついには北海道エリアがやまなみハイウェイを抜いて景観日本一の座に就いた。

周辺には、名湯、秘湯が点在し、郷土色あふれる料理、歴史的な文化遺産等々魅力いっぱい地域がたくさんある。ただ走り抜けるだけでは出会えない「新しい発見」が体験できるルートである。

令和元年度には、日本風景街道九州ルート年間優秀活動として「油屋熊八キッズミュージカル公演の開催」で表彰された。

昭和初期に九州横断の道路構想をいち早く提言した油屋熊八の功績を紹介するミュージカル公演を沿線各地で開催した。キッズミュージカル油屋熊八「SHINY UNCLE」は、大分県内の小学生から高校生約30名が出演し、2019年9月・2020年1月にかけて3県4市1町（愛媛県宇和島市、大分県大分市・竹田市・別府



花植え活動（大崎中学校）

地域からの報告 **長崎**  
環境美化を考える会

# 私たちの道守活動

今年で20年目  
幼稚園から高校生  
いっしょに活動、食育も



長崎西海トライアスロン大会での料理提供

大島町で美容室を営んでいた田口昭子さんが「商売をするとゴミが出る。それが地域を汚している。」と感じ、昭和49年から毎朝仕事前にゴミ拾いを始めたのがきっかけ。共感した仲間が一人二人と増えていき、平成11年11月11日の大島大橋開通に合わせて「環境美化を考える会」が発足、月に1、

2回の清掃・除草・花植えを基本として活動しています。大島町に気持ちよく来ていただくために、大島町の入口である大島大橋周辺の清掃や花植えを定期的にを行っています。その他にも、観光客の「大島町のどこに何があるかわからない」という声を聞き「大島島めぐりマップ」を作成したり、また、大島町最大のイベント

大島町の幼稚園から高校生の児童・生徒達と一緒に清掃活動や花植え活動をするのも多く、地域に根ざした環境美化活動を行っています。

道守さんの中には「自分たちが使う道は自分たちで綺麗にしよう」という気持ちを持って活動されている方が沢山おられます。中でもそれが「あたりまえのこと」と言い、西海市大島町で長年継続して環境美化活動がされている「環境美化を考える会」を紹介します。



ポカシブくり（西海小学校）

トである「長崎西海トライアスロン大会」では食糧部のボランティアとして、来訪する約1000人分の食事を準備するなど、おもてなしの心で活動しています。また、環境美化活動だけでなく、力を入れてるのが子供たちへの食育に関わることです。まず、除草した草や野菜くずなどにEM菌を混ぜ、有機肥料（ポカシ）をつくることから始まります。そのポカシを使って野菜を育て、収穫し、料理して食べる。農薬や除草剤を使わずに作った野菜がどれだけ美味しいかを体験できるこの取り組みはとて好評で、現在小学校（西海市3校、佐世保市2校）の総合学習にも取り入れられています。子供達が熱心に聞き入る眼差しや一生懸命作業している姿、野菜が嫌いだっ子供が「これ美味しい！」と言いつつ食べているのを見る、とても嬉しくなります。

一緒に清掃活動を行ったことがきっかけで繋がりができた大崎高校では、高校を卒業したら地元を離れ旅立つ生徒達も多いため、卒業シーズンに「ふるさと料理教室」を開き、地元の美味しい食材を使って一緒に料理をして、故郷の味と作り方を覚えてもらおうと、そんな活動も継続的に行っており、今年で20年目になります。



ふるさと料理教室（大崎高校）



料理（日野小学校）



国道210号バイパスの春を彩る菜の花



国道210号バイパスの秋を彩るコスモス

## わたしの好きな道

桃、サクラ、みかんとコスモスの道  
～国道210号バイパス うきは～

南に屏風山と言われている耳納連山がそびえ、北には筑紫次郎の名で名高い筑後川が流れ、筑後平野が大分県境まで延びています。その真ん中をJR久大本線が久留米から大分まで走り、並行して国道二一〇号が走っています。国道二一〇号は昔、豊後街道（日田往還）と言われていたと聞いていますが、その道路も久留米から吉井まで軌道が走り今もその記録が残っています。明治時代吉井の街中が大火に見舞われ、今の土蔵造りに建て替わり、国より筑後吉井重要伝統的建造物群保存地区の指定を受け、今も観光客が訪れています。この街並み保存に地域皆で取り組んでいます。街並み保存と車の混雑を解消する為、約40年前街の北側にバイパス新設計画が始まり、現在久留米市田主丸町からうきは市浮羽町まで供用開始となり、地域の人だけでなく、西は久留米市、東は大分日田市方面に行かれる人も多く利用しています。道路は片側二車線で、現在、片側二車線を供用し残り、二車線は休有地で現在は桃・桜・みかん等が植えられています。春には桃や桜の花が彩り、秋にはみかんが黄色に色付き、車の運転者も秋の爽りを目にハンドルをにぎっているのではないのでしょうか。秋になるとその中央分離帯にコスモスが満開となり行き交う人々の心を和ませています。二〇年前、環境美化を唱え、道沿いの皆さん方で、コスモス街道実行委員会を設立し、行政区の区長・分館長・農事組合長さん方や多くの有志の皆さん方の協力の下、事業が進み今日を迎えています。道守九州・道守福岡の皆さんのご指導とご支援を頂きながら地域を愛する心が大きな輪となり、コスモスの花を満開にしています。花を咲かせるだけでなく地域みんなで環境美化のためにボランティア活動に、ご協力をお願いしていきたいと思っています。これからも、道行く人々が花咲く国道二一〇号に足を運んで下されば幸いです。

### プロフィール

家永 重信（いえなが・しげのぶ）

福岡県うきは市出身・うきは市在住  
道守ふくおか会議世話人  
道守うきはネットワーク代表  
みどりの里・耳納風景街道推進協議会副会長





# 私たちの道守活動



会社周りの道路のゴミ拾い後の集合写真(大分市5号地) 国道197号沿い 大分市大志生木(おおじょうぎ)海水浴場ゴミ拾い

大分市内の小学校に隣接した舗装工事では、屏がコケで黒ずんでいたため、教頭先生に相談の上、創意工夫(奉仕活動)の一環で清掃を実施しました。  
50年以上「道づくり」を通じて社会に貢献したいとやってきました。今後も「国民の共有資産である道」を守る「地域の守り手」として、また、「道守会員」としての活動を、より一層、地域に貢献していきたいと存じます。(技術部長 八木憲二)

### 地域の守り手として!

弊社は、大分市に本社を置く、昭和41年創業の建設会社です。  
昨年の7月豪雨では、R210号赤岩地区の応急復旧工事を昼夜間(2交替)で被災から40日目に全面通行止めを解除することができました。発注者も24時間体制で、日々の工程打合せや指導をいただき、無事故で完成することが出来ました。誌面をお借りし、感謝申し上げます。  
平成19年よりニチレキ(株)グループの一員となり、LCCの縮減に有利な新材料を用いた「新時代の舗装技術」(長寿命化)なども提案させていただいているところです。  
地域貢献として、会社近くや現場周辺のゴミ拾い活動など、また、小学校のプール清掃は、好評を得て、活動範囲が広がっています。

## 朝日工業株式会社(大分市)

### 大分



## 株式会社河建(みやま市)

### 福岡



### コロナ禍でも出来る事をコツコツと

私達が国道209号線沿いの、事務所周りの掃除を始めて三年になります。「私たちにできる地域貢献」として社員が始めたのがきっかけです。大型ダンプが行き交う横で草取りをする時は、ハッとすることもありますが、「無事故できれいに」と心でつぶやきながら行っています。国道209号線と208号線の交差点の地域を、社員全員でゴミ拾いをする事もあります。昨年、行政とみやま市の企業による「道守みやま(仮称)」を結成したいと計画中でしたが、新型コロナウイルスの発生と時期が重なり、未だ結成には至っておりません。最近では他所でも草取りをする姿を見るようになり、掃除の際にもゴミが少なくなった事に喜びを感じます。今は小さな点ですが長く太い線になり、みやま市が「きれいな道」を中心に繁栄し続ける事を願って、今日も私たちは掃除を続けます。(総務部 江崎)



国道208号と209号の交差点で



作業中



作業後

## 道守佐賀会議(佐賀市)

### 佐賀



### 道への想い、ツイッターにのせて

早や2年が経過しようとしているものの、一向に終息の兆しが見えない新型コロナウイルスの猛威。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が繰り返され、私たちの活動にも様々な影響を及ぼしています。  
毎年3月、佐賀市内中心街の各所で由緒あるひな人形が飾られ、佐賀の美しい街並みやグルメを楽しむことができ「佐賀城下ひなまつり」というイベントが開催されますが、昨年度は新型コロナの影響によりイベント自体が中止に...  
道守佐賀会議は平成17年から「ひなまつりおもてなし清掃」と銘打ち、清掃活動を行っていましたが、イベント中止の連絡を受け、昨年度は各団体が独自に清掃活動を実施し、昨年開設した公式ツイッターで活動状況を発信することで代替活動とすることにしました。  
コロナ禍だからこそできること。それは、それぞれの団体の「道に対する想い」をSNSに乗せて、四季折々の「道の表情」をお届けすることが、私たちが出した答えの一つです。(事務局 木村剛)

早や2年が経過しようとしているものの、一向に終息の兆しが見えない新型コロナウイルスの猛威。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が繰り返され、私たちの活動にも様々な影響を及ぼしています。  
毎年3月、佐賀市内中心街の各所で由緒あるひな人形が飾られ、佐賀の美しい街並みやグルメを楽しむことができ「佐賀城下ひなまつり」というイベントが開催されますが、昨年度は新型コロナの影響によりイベント自体が中止に...  
道守佐賀会議は平成17年から「ひなまつりおもてなし清掃」と銘打ち、清掃活動を行っていましたが、イベント中止の連絡を受け、昨年度は各団体が独自に清掃活動を実施し、昨年開設した公式ツイッターで活動状況を発信することで代替活動とすることにしました。  
コロナ禍だからこそできること。それは、それぞれの団体の「道に対する想い」をSNSに乗せて、四季折々の「道の表情」をお届けすることが、私たちが出した答えの一つです。(事務局 木村剛)



【松尾建設株式会社】感謝の気持ちを込めてゴミ拾い!



【NPO法人 活気会】旧長崎街道(白山名店街)でのゴミ拾い!



【株式会社中野建設】小さなゴミまで見逃すものか!



【森永建設株式会社】「肥前・美ロード活動」と称して気持ちのいい道に!



10月の県内道守一斉活動の様子



清掃後の集合写真

### 自然保護からゴミ拾い、草むしりまで

龍南建設(株)は、宮崎県内の官公庁関係の土木工事を中心に活動する会社です。昭和29年創業、従業員は45名になります。  
自然環境維持や生態系保護のためのボランティア活動にも、積極的に参加して、その一環として道守活動にも平成29年より参加しています。  
毎朝本社周りの道路清掃(ゴミ拾いや草むしり)、各現場周辺の道路清掃(ゴミ拾い等)を行っています。  
10月の県内道守一斉活動では、本社勤務者と役員も参加して、本社前の県道367号線のゴミ拾い、除草作業、歩道に溜まった砂等の撤去を行っています。会社周りの住民や散歩をしている方々には、「きれいにしてくれてありがとう」と感謝の言葉を頂いたりします。  
現在は、コロナ禍で様々な規制や息苦しさを感じることもあります。こんな時期だからこそ龍南建設は社員一丸となり、気持ちを一つにして美化活動にも取り組んでいきます。(総務部 柳田将宏)

## 龍南建設株式会社(宮崎市)

### 宮崎



## 下町惣門会(山鹿市)

### 熊本



### 水運の町ツアー 米をテーマにまちづくり

今から21年前、山鹿惣門地区でNHKの朝ドラのロケが行われました。  
地域住民100名ほどがエキストラで協力し放送後、観光客増を予想してひねり出したのが、米米惣門ツアーという町歩きツアーです。  
惣門地区は昔、菊池川水運で栄え、せんべい屋、酒造会社、こうじ屋などの古い町屋が街道沿いに残っています。  
ロケから放送日までの3ヶ月、毎週月曜、午後7時に集まり会議を進める中、米という共通点に気づき、米をテーマにリレー方式で各店舗を案内する1時間のツアー企画が出来上がりました。  
案内シナリオも出来、期待を込め放送日に合わせてツアー開始、ところがあれだけ長く撮影されたのに放送はなんと一瞬、テレビ効果はゼロでしたが、ツアー参加者は少しずつ増えていきました。  
主催する下町惣門会のメンバーはツアー前後に打ち合わせと反省会を行います。ご近所なので機動力抜群です。  
新型コロナウイルスの影響で現在激減の状況ですが、また皆様を楽しくおもてなし出来る事をメンバー一同、心から願っております。(井口圭祐)

今から21年前、山鹿惣門地区でNHKの朝ドラのロケが行われました。  
地域住民100名ほどがエキストラで協力し放送後、観光客増を予想してひねり出したのが、米米惣門ツアーという町歩きツアーです。  
惣門地区は昔、菊池川水運で栄え、せんべい屋、酒造会社、こうじ屋などの古い町屋が街道沿いに残っています。  
ロケから放送日までの3ヶ月、毎週月曜、午後7時に集まり会議を進める中、米という共通点に気づき、米をテーマにリレー方式で各店舗を案内する1時間のツアー企画が出来上がりました。  
案内シナリオも出来、期待を込め放送日に合わせてツアー開始、ところがあれだけ長く撮影されたのに放送はなんと一瞬、テレビ効果はゼロでしたが、ツアー参加者は少しずつ増えていきました。  
主催する下町惣門会のメンバーはツアー前後に打ち合わせと反省会を行います。ご近所なので機動力抜群です。  
新型コロナウイルスの影響で現在激減の状況ですが、また皆様を楽しくおもてなし出来る事をメンバー一同、心から願っております。(井口圭祐)



店主によるおもしろガイド



町屋の風情が残る惣門地区

### 10年間、地域密着型の道守活動

## コーアツ工業株式会社(鹿児島市)

### 鹿児島



コーアツ工業(株)は、鹿児島市の北の玄関口である鹿児島北ICのそばに位置する事から、道守かごしま会議会員として各種「道守活動」を実施継続しております。鹿児島県の「ふるさと」の道サポーター」事業の一環としてIC付近の道路清掃を行ったり、鹿児島市の「まち美化」プロジェクトに参加し、会社近隣にある小学校・幼稚園に通ずる市道の清掃活動も行っております。活動を始めた約10年前に比べ、空き缶や吸い殻のゴミは確実に減ってきましたし、活動中を通りかかる方々や子供たちの挨拶も馴染んできました。活動を行うことで普段利用している「道」への感謝、会社近隣の方々への感謝の気持ちが社員にも醸成されてきました。現在コロナ禍で活動自粛の機運もありますが、感染症対策を万全に行い、ICを利用する地域の方々や、学校に通う子供たちが気持ちよく利用できるよう地域密着型の道守活動を継続していきます。(営業部 花井昭浩)



清掃後の集合写真



伊敷小学校付近の清掃



鹿児島IC付近の清掃



ワシントンDC

## 電動キックボードで首都をスイスイー 自転車レーンも27km整備。「Slow Streets」も

突然ですが、アメリカ合衆国の首都と言えどどこか、皆さんご存じでしょうか。ワシントンDCです。私は今年3月末まで、このワシントンDCで約2年間過ごしていました。そんな私の経験の中から米国の道路事情について、少しご紹介したいと思います。

私が米国に赴任した2019年当時、米国の街中を歩いていて感じたのが、シェア電動キックボードの多さでした。米国連邦議会議事堂やスミソニアン博物館などがあるナショナルモールやホワイトハウスなど多数の観光客が集まる地域で、多くの来訪



シェア電動スクーターとドック型シェアサイクル



路側に自転車専用レーンと歩行者空間を拡張

者が街中を移動する手段としてシェア電動キックボードを乗り回していました。DCではこの他、ドック型/ドックレス型シェアサイクルの導入も盛んであり、米国ではこれら3モードを総称して「マイクロモビリティ」と呼んでいます。

このマイクロモビリティ、ハンドル付近に貼り付けられたQRコードをスマートフォンで読み取ることで、誰でもどこでも自由に利用を開始・終了できる手軽さもある。シェア電動キックボードは2019年に全米115都市で導入されるなど、爆発的に普及が進みました。マイクロモビリティは自転車と同様の走行ルール

が適用され、DC中心部では車道と自転車道が走行可能となっています。

DCでは2001年以降、94マイル(約151km)に及ぶ自転車レーンが整備され、うち、2009年に導入された、物理的に分離された自転車レーン(Protected Bicycle Lanes: PBLs)は16.6マイル(約26.7km)に達しています。さらに追加で20マイル(約32km)を3年以内に整備する計画が2020年に打ち出されています。PBLsは、自転車利用者の安全性を著しく向上し、快適性を提供するだけでなく、歩行者や自動車の安全性をも向上させるとして、導入が図られています。



車線中央部に自転車走行区間を整備



路肩や歩道をテラス席として活用

2020年以降はコロナウイルス感染症の流行により人の移動が大幅に減少したことから、事業廃止や一時中止をしたマイクロモビリティも多く、普及は一時停滞しているようです。その一方DCでは、交通量が大きく減ったことを契機と捉え、歩行者や自転車のソーシャルディスタンスの確保と併せて人々の安全やレクリエーション空間を安全に確保するため、交通量の減少した道路の一部について、最高速度を15MPH(約24km/h)に制限して通過交通の通行を禁止する「Slow Streets」という取り

組みが2020年6月より開始されました(その後、2021年5月末をもって「Slow Streets」の実験的な取組は終了した模様)。また、車道の一部を閉鎖して沿道のレストランのテラス席として活用する取組なども行われていました。日本においても歩行者の利便性を高める道路空間を確保する「ほこみち制度」が登場しましたが、こういった道路活用する取組が米国でどのように定着していくのか、今後の展開から目が離せません。



**プロフィール**  
金井 仁志  
国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所長。2019年4月から2021年3月までアメリカ合衆国運輸省連邦道路局(FHWA)で勤務。米国のITSや自動運転に係る道路施設の最新動向について調査・研究。

## 道守 人物伝

### 「花の育て方、勉強中」 若い道守さんに期待

くまもとの風

那須唯奈さん



那須唯奈さんは、「くまもとの風」で活動されている若手の女性です。元々は、草花にあまり興味はありませんでしたが、職場で皆さんと草花を育てたり一緒に清掃活動をする様になって興味が出てきました。草花を育てるには、育て方や管理の仕方にも配りがあります。四季折々に美しい花を咲かせる為には、苗の選び方や植える時期、植え方など専門的な知識も必要です。何より草花に愛情がなければ、長続きしません。現在、先輩の方々の指導を仰ぎ、草花の育て方を勉強中です。又、道路を清掃すれば綺麗な環境で暮らせます。

「くまもとの風」は、道守くまもとと会議の中でも若手のグループで、高齢化で活動が困難になられている団体さんへのヘルプも行っています。

「草花は綺麗に咲きほこれば、人々の心を和ませます。最近、やりがいを感じています」と、那須さん。

道守活動に、このような世代間を超えた「助け合い」の精神が生まれると心強いものがあります。なにより、ボランティア活動は、継続こそ力になります。諸先輩が築いてくれた道守活動は地域で着実に浸透してきています。この精神と実践を受け継いでいくためには、若手をいかに巻き込んでいくのが重要です。「高齢化で活動を続けられなくなった団体さんも沢山いる中で、那須さんたちの活動が、地域ボランティア活動の活性化し、未来に希望を灯してくれます。」と、道守くまもとと会議は期待を寄せている。

## 道守たちのトピックス

### 「#3つの輪 清掃活動」で繋がつた九州

道守通信40号のトピックスで紹介した「#3つの輪清掃活動」。九州各地の道守さんたちからもTwitter、Instagram、Facebookでの多くの活動に関する投稿がありました。

自分の住んでいる地域が「キレイで潤った街にしたい」と日頃、真摯に考え、同じ志で活動している方たちが九州各地にいらっしゃるといえるのは、道守活動を続けられる一番の理由です。

一斉清掃は、「ハレとケ」(ハレは年中行事などの非日常、ケは普段の生活である日常)という「ハレ」を演出したわけですが、その「ハレ」の舞台さえもコロナで制限されるこの状況。日常をコツコツとこなす中で、この日は皆さんとの絆を感じ、励まされ元気をいただきました。

### 前田建設工業(株)様より 寄付金をいただきました



尾付野誠支店長から玉川副代表世話人が受領

10月6日に前田建設工業(株)九州支店会議室にて、寄付金の授与式を行いました。

## 横顔

### 道路部長 富山 英範氏



富山英範道路部長は、本年7月より京都府建設交通部長から就任。富山県黒部市出身。「本誌の創刊当時から、道路計画第一課長、福岡国道事務所長として、道守の皆様には大変お世話になりました。今後とも皆様との連携・協働を通じて、よりよい地域づくりに取り組んで参りますので、よろしくお願ひいたします。」

### 道路情報管理官 谷川 征嗣氏



谷川征嗣道路情報管理官は、本年7月より北九州国道事務所長から現職に就任。宮崎県延岡市出身。「道守の皆様への活動に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。道守の皆様との交流・連携を一層深め、各地域がより元気になるよう活動の推進に努めて参ります。」

## 道守通信 編集後記

◎今回のみちづくしは、メイン会場とサテライト会場を結び、対面とリモートを併用した初めての試みの大会です。どうかかドキドキの日々です。きつとうまくいくと信じています。最大の楽しみである各県の道守屋台がないことが唯一残念ですが、。◎コロナ禍でも、道守さんたちは知恵と工夫を駆使し、道守活動を実践してきました。沿道には四季折々の花が咲き、ゴミのない心地よい風景に、地域住民だけでなく、訪れる人々や道行く人々も心を癒されています。ひたすら果敢もり生活が続く中、やっと外出した時に触れる豊かな自然や景色にほっとされた方たちも多いことでしょう。道の景観を守る道守さんが九州各地に存在することを誇りをもって知ってほしいと思います。◎九州地域づくり協会から、「門司港・関門・下関編」「遠賀川と若戸編」「長崎街道(小倉から木屋瀬)」「ガイドマップ三部作」を作成していただきました。現地訪問時にお役に立つと思います。活用された方は、冊子についての感想やご意見をお寄せ下さい。

～道守通信 vol.41秋号へ協賛いただいた皆様(団体・企業)～

※順不同

株安部組	九建設計株	九州建設コンサルタント株
株日建コンサルタント	株野村建設	株富士設計
明大工業株		

～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

(一社)九州地域づくり協会	九州国道協会	九州電力株
(一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	(一社)日本道路建設業協会 九州支部	福岡市道路利用者会議
(一社)福岡県建設業協会	福岡県道路協会	株大林組 九州支店
(一社)佐賀県建設業協会	佐賀県道路愛護協会	鹿島建設株 九州支店
(一社)長崎県建設業協会	長崎県道路協会	建設サービス株
(一社)熊本県建設業協会	熊本県道路利用者協会	清水建設株 九州支店
(一社)大分県建設業協会	大分県道路利用者会議	大成建設株 九州支店
(一社)宮崎県建設業協会	宮崎県道路利用者協議会	長幸建設株
(一社)鹿児島県建設業協会	鹿児島県道路利用者協議会	西日本高速道路株九州支社
日新興業株	福岡北九州高速道路公社	九州技術支援協議会
株九州建設マネジメントセンター	株熊谷組 九州支店	西日本高速道路エンジニアリング九州株
西日本高速道路メンテナンス九州株	阪神高速技術株	サンコーコンサルタント株 九州支社
朝日開発コンサルタンツ株	旭建設株	朝日工業株
朝日テクノ株	株アジア技術コンサルタンツ	株アップス
株安部日鋼工業 九州支店	株安藤・間 九州支店	いであ株 九州支店
鳥城塗装工業株	株エイト日本技術開発 九州支社	株エスイー 九州支店
NTTインフラネット株 福岡支店	NTTインフラネット株 熊本支店	NTTインフラネット株 鹿児島支店
有エンジニアプランニング	扇精光コンサルタンツ株	大分瓦斯株
大分県建設業協会 大分支部	大分県道路舗装協会	大分交通株
株大島造船所 九州営業所	株岡崎組 勝盛会	株荻島組
株オリエンタルコンサルタンツ 九州支店	株ガイアート 九州支社	鹿児島土木設計株
株片平新日本技研 福岡支店	上内電気株	川田建設株 九州支店
株カンドー 九州支店	九建設計株	株九州開発エンジニアリング
九州環境管理株	九州建設コンサルタント株	九州地区道路利用者会議
九州みちの会	協同エンジニアリング株	株橋梁コンサルタント 西日本支社
(一財)橋梁調査会	株建設環境研究所 九州支社	株建設技術研究所 九州支社
株建設技術コンサルタンツ	株建設技術センター	(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部
株鴻池組 九州支店	コアツ工業株	株国土開発コンサルタント
株コバルト技建	株駒井ハルテック 九州営業所	株西海建設
西部ガス株	(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会	株サタコンサルタンツ
株ジャストエンジニアリング	昭和コンクリート工業株 九州支店	新成建設株
株新日本技術コンサルタント	株親和コンサルタント	株末宗組
株西部技建コンサルタント	株セントリー企画	株総合技術コンサルタント 九州支店
そうじの会(多久の未来を創る会)	有測量企画センター	株そよかぜ館(「道の駅大和」)
大日本コンサルタント株 九州支社	大福コンサルタント株	太陽技術コンサルタント株
株高山組	瀧上工業株	宅島建設株
谷川建設工業株	株玉の湯	株地域科学研究所
中央コンサルタンツ株 福岡支店	中央復建コンサルタンツ株	株長大 福岡支社
株長大テック 福岡支店	通信土木コンサルタント株 九州支店	株東亜コンサルタント
東急建設株 九州支店	株東京建設コンサルタント 九州支社	株東豊開発コンサルタント
東洋技術株	利光建設工業株	戸田建設株 九州支店
株友岡組	株友岡建設	株名村造船所 福岡営業所
南生建設株	株西九州道路	西日本技術開発株
西日本建技株	西日本コンサルタント株	西日本コトラクト株
株日建コンサルタント	日鉄鉦コンサルタンツ株 福岡支店	日本乾溜工業株
日本軌道工業株	日本工営株 福岡支店	(一財)日本造園修景協会 大分県支部
日本地研株	株野村建設	葉隠会道守部会
株萩原技研	バンフィックコンサルタンツ株 九州支社	株ピーエス三菱
株日高本店	福地建設株	株福山コンサルタント
株富士設計	株富士ピー・エス	株ぶぜん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ)
復建調査設計株 九州支社	前田建設工業株 九州支店	松尾建設株
株松本技術コンサルタント	株丸福建設	株水野建設コンサルタント
有道の駅みえ	みちを考える会	宮崎空港ビル株
株宮崎産業開発	宮地エンジニアリング株 福岡営業所	村本建設株 九州支店
八千代エンジニアリング株 九州支店	株ヤマウ	株ヤマックス
株横河ブリッジ 福岡営業所	龍南建設株	

個人会員66名



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」秋号  
令和3年10月発行

「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2丁目10番7号  
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

■(一社)九州建設技術管理協会内  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号  
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/> e-mail [michi-kima@kyugikyo.or.jp](mailto:michi-kima@kyugikyo.or.jp)